

社会資本総合整備計画

平成29年3月17日

計画の名称	2 市街地における安全・安心で良好な都市環境づくり(防災・安全)										重点計画の該当							
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)					交付対象					高知県、高知市、宿毛市							
計画の目標	高知県は、北に四国山地を背負い、南に太平洋が開けた自然環境に恵まれた地形を有しているが、その反面、狭い平野部に形成された市街地では住宅も密集し交通渋滞も発生している。また、今後高い確率で発生が予測される南海地震による甚大な災害も懸念されている。このため、人々が安全で快適な都市生活を営むうえで必要な、地域の特色を生かした幹線道路ネットワークの整備・充実、歩行空間の確保、にぎわい空間の創出を図り、併せて災害にも強い都市環境づくりを行う。																	
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心で快適な歩行空間を確保する。 南海地震から人命を守る区域の拡大を図る。 																	
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考					
											当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)					
	整備箇所における安全・安心な歩行空間の増加率(%) = (整備後における幅員2.5m以上の歩道延長) / (平成26年度における幅員2.5m以上の歩道延長) - 1										0	404	733					
	避難可能区域の増加(ha) = (避難経路として有効な幅員12m以上の街路整備延長) × (避難路へのアクセス可能区域) ※平成26年度を基準とする。 ※避難路へのアクセス可能区域: 片側500m × 2 = 1,000m										0	88	161					
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	12,127百万円	A	12,024百万円	B	百万円	C	103百万円	D	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.8%						
交付対象事業																		
A 道路事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
											H26	H27	H28	H29	H30			
A-1	街路	一般	高知県	直接	高知県	S街路	改築	(都)はりまや町一宮線(はりまや工区)	街路築造 L=283m	高知市						2,805	—	重点計画へ移行
A-2	街路	一般	高知県	直接	高知県	S街路	改築	(都)安芸中央インター線	街路築造 L=837m	安芸市						293		重点計画へ移行
A-3	街路	一般	高知県	直接	高知県	S街路	改築	(都)高知駅南町線	街路築造 L=740m	高知市						3,200	—	重点計画及び社総金へ移行
A-4	街路	一般	高知市	直接	高知市	S街路	改築	(都)上町2丁目南城山線(鴨部工区)	街路築造 L=758m	高知市						195		
A-5	街路	一般	高知市	直接	高知市	S街路	改築	(都)旭町福井線(第3工区)	街路築造 L=345m	高知市						1,206	—	重点計画へ移行
A-6	街路	一般	高知市	直接	高知市	S街路	改築	(都)曙町西横町線(中工区)	街路築造 L=430m	高知市						727	—	重点計画へ移行
A-7	街路	一般	高知市	直接	高知市	S街路	改築	(都)愛宕町北久保線(愛宕町工区)	街路築造 L=315m	高知市						1,011	—	重点計画へ移行
A-8	街路	一般	高知市	直接	高知市	S街路	改築	(都)鴨部北城山線(第2工区)	街路築造 L=450m	高知市						598	—	重点計画へ移行
A-9	街路	一般	南国市	直接	南国市	S街路	改築	(都)南国駅前線(第2工区)	街路築造 L=414m	南国市						121		社総金へ移行
A-10	街路	一般	南国市	直接	南国市	S街路	改築	(都)高知南国線(第2工区)	街路築造 L=210m	南国市						333		社総金へ移行
A-11	街路	一般	南国市	直接	南国市	S街路	改築	(都)高知南国線(第3工区)	街路築造 L=220m	南国市						0		社総金へ移行
A-12	街路	一般	香美市	直接	香美市	S街路	改築	(都)新町西町線	街路築造 L=500m	香美市						1,205	—	重点計画へ移行
A-13	街路	一般	宿毛市	直接	宿毛市	S街路	改築	(都)桜町・沖須賀線	街路築造 L=230m	宿毛市						330	—	
											合計					12,024		
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H26	H27	H28	H29	H30				
											合計					0		
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H26	H27	H28	H29	H30				
C-1	計画・調査	一般	高知県	直接	高知県	計画・調査	交通量実態調査	(都)はりまや町一宮線他2路線の交通実態調査	高知市、南国市						20			
C-2	計画・調査	一般	南国市	直接	南国市	計画・調査	市街地のまちづくり計画	街路整備と一体となったまちづくりの計画	南国市						6			
C-3	施設整備	一般	南国市	直接	南国市	その他	後免町コミュニティー広場	広場整備 A=549m ²	南国市						32			
C-4	施設整備	一般	宿毛市	直接	宿毛市	景観・修景	宿毛市中心市街地活性化を目的とした高質空間形成事業	遊歩道整備 L=610m	宿毛市						45			
C-5	計画・調査	一般	宿毛市	直接	宿毛市	計画・調査	宿毛市中心市街地における景観整備機能をもった都市計画道路の効率的かつ効果的な整備の推進	効果的・効率的な街路整備計画	宿毛市						0			
											小計					103		
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考					
C-1	街路事業(A-1～A-3)における本計画の効率的・効果的な展開を図ることを目的として、各路線完了後の効果検証を行うための交通量等の実態調査を行う。																	
C-2	街路事業(A-9～A-11)と一体となったまちづくりを行うため、中心市街地のまちづくり計画や都市交通施設整備計画に関する検討を実施する。																	
C-3	街路事業(A-9)による道路ネットワークの整備とあわせて、コミュニティー広場を整備することで、歩行者に休息や強い場を提供し、にぎわい空間の創出を図れる。																	
C-4	街路事業(A-13)とあわせて、景観・修景整備を行うことにより、潤いのある安全・安心で快適な道路空間を確保し、市街地における人にやさしい交通ネットワークの構築を図る。																	
C-5	街路事業(A-13)とあわせて、中心市街地における津波避難機能を有した都市計画道路の効果的かつ効率的な整備計画を策定することにより、災害にも強い都市内幹線道路ネットワークの整備を着実に推進できる。																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
									H28	H29	H30							
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考					

交付金の執行状況

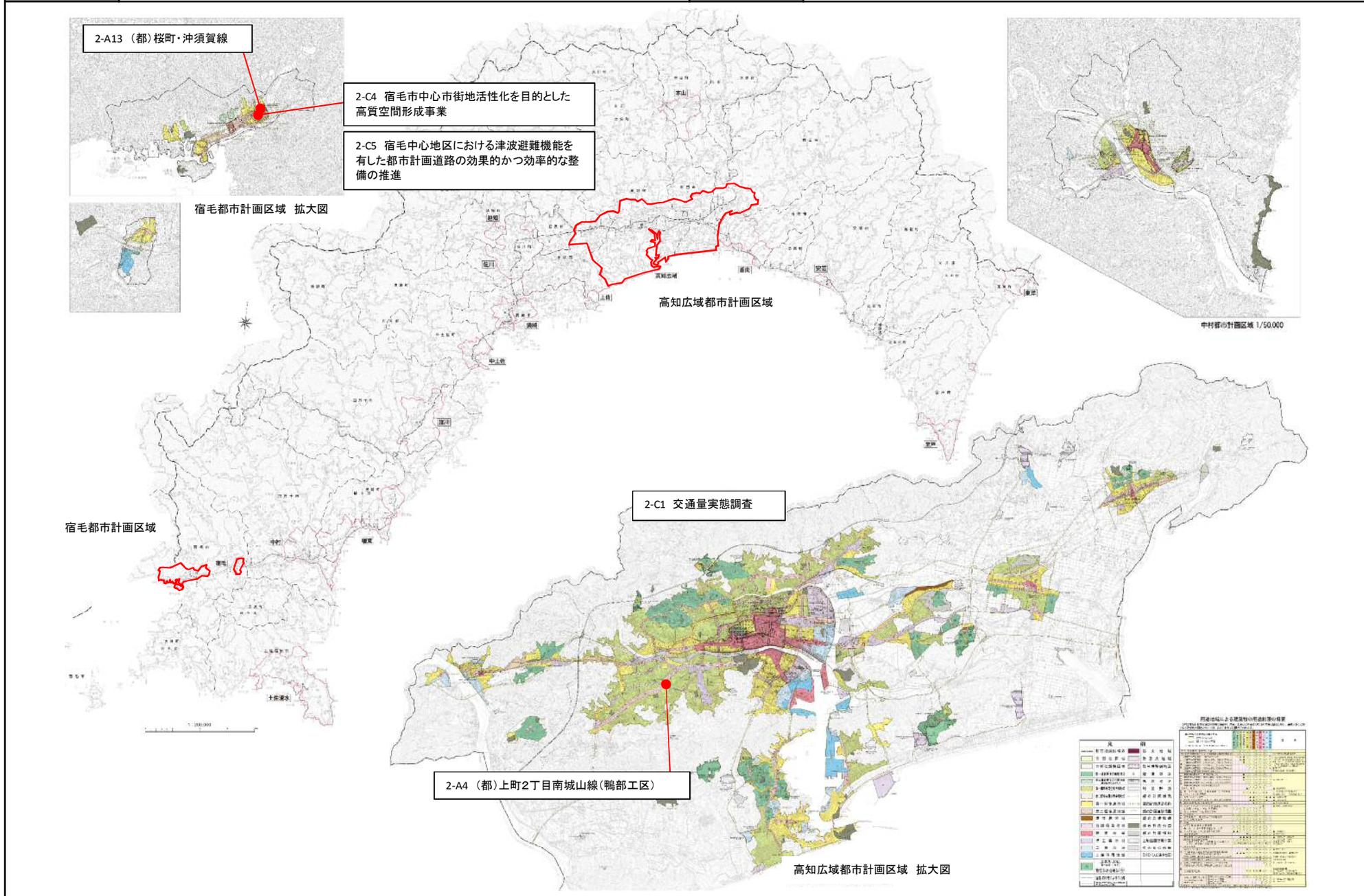
(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	752	490			
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)	752	490			
前年度からの繰越額 (d)	278	395			
支払済額 (e)	636	537			
翌年度繰越額 (f)	395	348			
うち未契約繰越額 (g)	230	168			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	22.4%	19.0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	補償交渉に日数を要したため	用地に関する調整に時間を要したため			

※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考様式3) (参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全)

計画の名称	2 市街地における安全・安心で良好な都市環境づくり (防災・安全)	交付対象	高知県、高知市、宿毛市
計画の期間	平成26年度～平成30年度 (5年間)		



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 市街地における安全・安心で良好な都市環境づくり(防災・安全)

事業主体名: 高知県、高知市、宿毛市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合性	
1)上位計画等と整合性が確保されている。 (社会資本整備重点計画、都市計画区域マスタープラン)	○
②地域の課題と整備計画の目標の適合性	
1)地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 整備計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)整備の目標と定量的目標の整合性が確保されている。	○
2)整備の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)定量的指標が分かりやすいものとなっている。	○
4)幹線道路ネットワークの整備・充実、歩行空間の確保を図る計画である。	○
5)防災・安全に資する道路整備を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業間の連携により、防災・安全が向上するものとなっている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)継続的なまちづくりの展開(土地利用)が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)他事業者との連携が図られている。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○